

桑野塾

桑野塾

検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

@web

第61回

2020年
12月20日(日)
13:00 ~ 15:00
ルームオープン: 12:40

Zoomにて再開!

参加無料

★メールでのお申し込みが必要です。
Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

2020年1月25日の第60回のあと、やむなく休止していた桑野塾ですが、Zoomで再開いたします!

アンナ・ラーツィス『赤いナデシコ：《職業革命家》アーシャの回想録』について

(水声社、2020年12月刊)

報告者：桑野 隆



『赤いナデシコ：《職業革命家》アーシャの回想録』
表紙プロトタイプ

恋と革命と演劇——ベンヤミンが恋した革命家〈アーシャ〉の自伝

ヴァルター・ベンヤミンの〈恋人〉として知られる、プロレタリア演劇に生涯を捧げた女優／演出家／
コミュニスト／《職業革命家》、アンナ・ラーツィス。
波乱に満ちた活動の軌跡、ベンヤミン、ブレヒトらとの交流、夫ライヒへの思いを赤裸々に語るとともに、
実践により培った自らの演劇理論と芸術観を明らかにする。(本書の帯より)

●桑野 隆(くわの たかし)

元 早稲田大学教育・総合科学学術院(教育学部複合文化学科)教授。
専門は、ロシア文化、表象文化論。
訳書『赤いナデシコ：《職業革命家》アーシャの回想録』
(アンナ・ラーツィス著・水声社)は2020年12月下旬に刊行予定。

コロナと選挙のアメリカ報告

報告者：武隈 喜一



エンターテインメントが停止したニューヨークの現在

新型コロナウイルスの感染者数が1300万人を超えたアメリカ。選挙ではバイデン氏が勝利したが、
敗北を認めないトランプ大統領。観光客の消えたブロードウェイ——貧富の格差と陰謀論の
中で迷走する大国の現状を、ニューヨークから生報告

●武隈 喜一(たけくま きいち)

1957年東京生まれ。上智大学外国語学部ロシア語学科、東京大学文学部露文科卒業。
出版社、通信社等を経て、1994年から1999年テレビ朝日朝日モスクワ支局長。2016年7月からニューヨーク勤務。
編訳『ロシア・アヴァンギャルドII 演劇の十月』(国書刊行会、1988年)、『ロシア・アヴァンギャルドI 未来派の実験』(同、1989年、共に共編)、
著書『黒いロシア 白いロシア—アヴァンギャルドの記憶』(水声社、2015年)など。
ニューヨークの文化と政治と生活を「あてらな通信 ニューヨーク篇」、「メディアの現在」としてメール配信を続ける。
email: kiitake@hotmail.com

1914年の日本人軽業一座

報告者：大島 幹雄



『ピクチャレスク・ジャパン』のチラシより

大正2年、イギリスで撮影された日本の軽業

2020年10月、国立映画アーカイブ「ピクチャレスク・ジャパン」で公開された1914年英国で
撮影された日本人軽業一座の5分ほどの映像をもとに、この一座がどこの一座だったかを探る。

●大島 幹雄(おおしま みきお)

サーカス学会会長。
著書に『サーカスと革命』(水声社)、『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』(祥伝社)、
『サーカス学誕生』(せりか書房)など。